

ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド
(為替ヘッジなし/資産成長型) (為替ヘッジあり/資産成長型)
(為替ヘッジなし/年4回決算型) (為替ヘッジあり/年4回決算型)

資産成長型

第1期 (決算日 2024年10月25日)

年4回決算型

(第1期 (決算日 2024年7月25日)
第2期 (決算日 2024年10月25日)

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5118>
<5119>
<5120>
<5121>

ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジなし／資産成長型)

<5118>

追加型投信／内外／資産複合
日経新聞掲載名：JHバ無成長

第1期 2024年10月25日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国を中心とした世界の株式および債券に分散投資を行なうとともに、機動的に配比率を調整し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第1期末	基準価額	10,362円
	純資産総額	16,270百万円
第1期	騰落率	3.6%
	分配金	0円

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

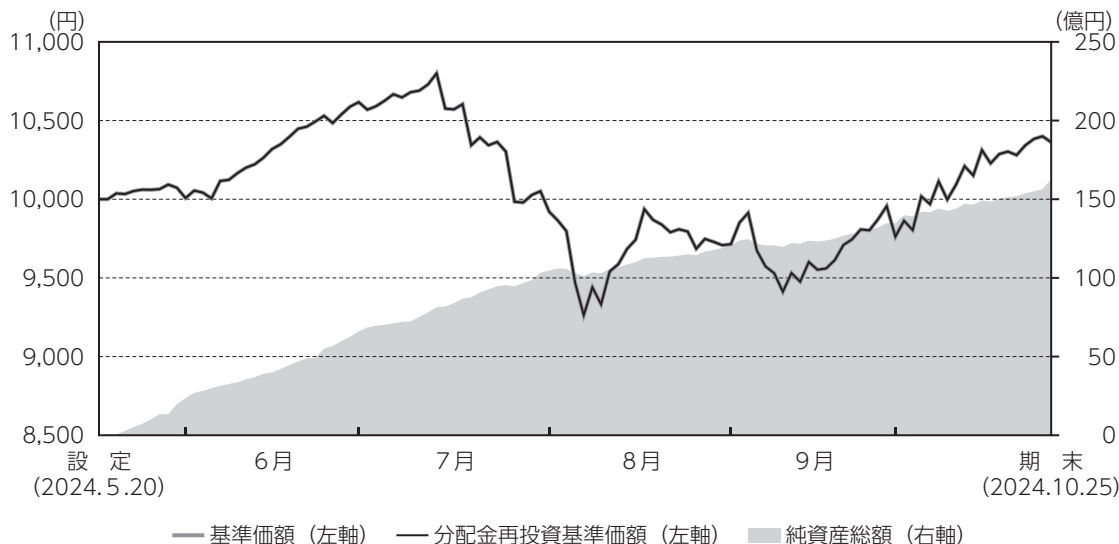
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期末：10,362円 (分配金0円)

騰落率：3.6% (分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」に投資した結果、米ドルが対円で下落 (円高) したことはマイナス要因となったものの、米国株式や米国債券市況の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド：ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド (Zクラス)

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024.5.20~2024.10.25)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	79円	0.783%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,061円です。
(投 信 会 社)	(44)	(0.436)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.335)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	79	0.787	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

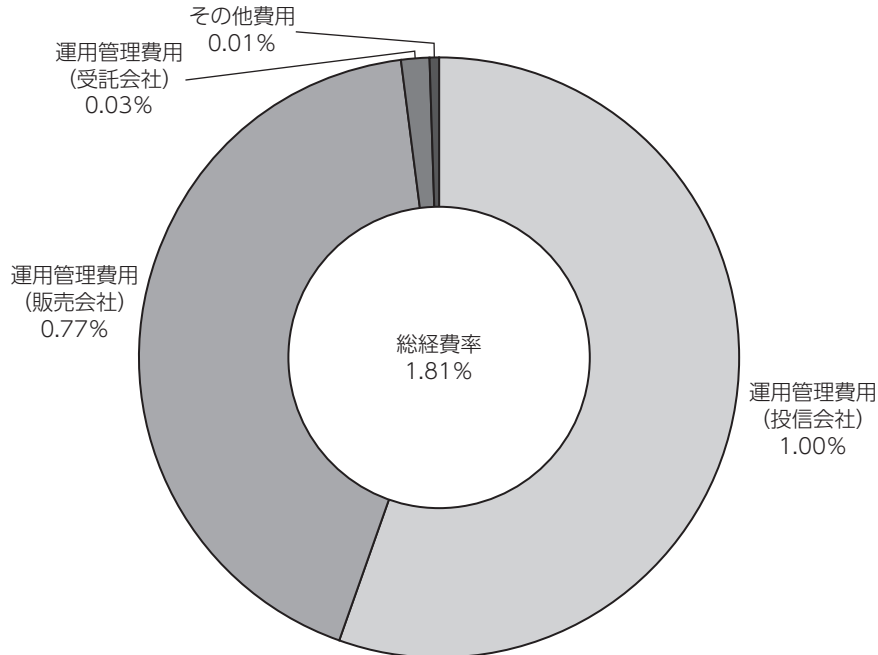
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.81%です。



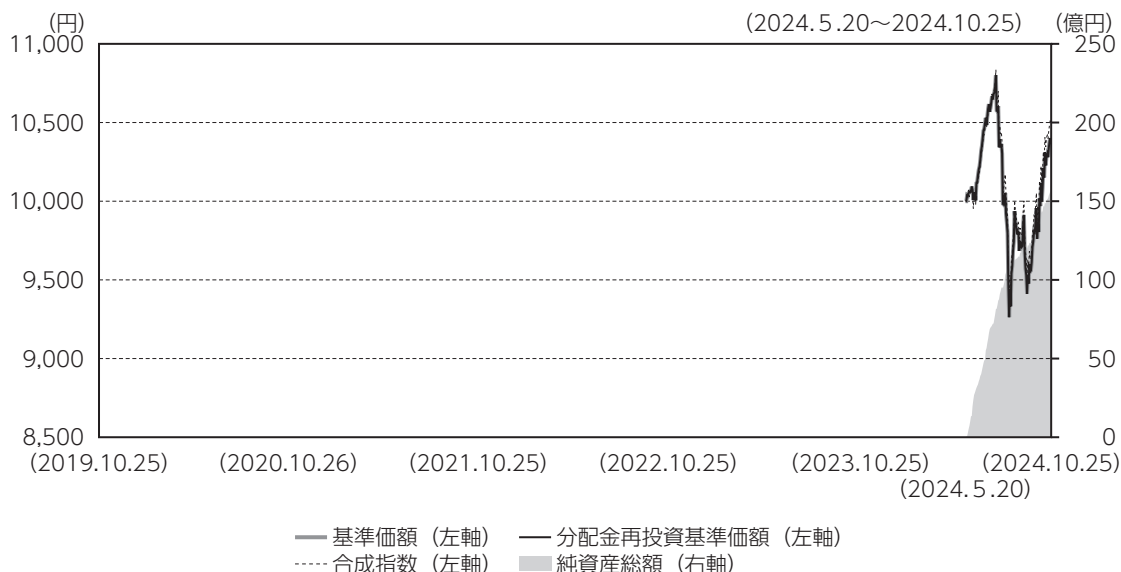
(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

* 投資対象とする外国投資証券の費用は、当該外国投資証券からは支払われません。ただし、組み入れている当該証券の純資産総額の年率0.645%が、投信会社からジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・UK・リミテッドへ支払われます。（この費用は、実質的には、上記の運用管理費用（投信会社）に含まれます。）

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2024年5月20日を10,000として指数化したものです。

*参考指数は合成指数です。

		2024年5月20日 設定	2024年10月25日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,362
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	3.6
合成指数騰落率	(%)	—	5.0
純資産総額	(百万円)	50	16,270

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 合成指数は、下記の指数と配分比率をもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

指 数	配分比率
S & P 500指数 (配当込み、円換算)	60%
ブルームバーグ米国総合債券指数 (円換算)	40%

(注) S & P 500指数 (配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース) をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。ブルームバーグ米国総合債券指数 (円換算) はブルームバーグ米国総合債券指数 (米ドルベース) をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。

(注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2024.5.20~2024.10.25)

■米国株式市況

米国株式市場は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が高まったことなどから上昇基調で推移し、高成長が期待されるAI（人工知能）関連企業の株価急騰が相場をけん引して高値を更新しました。しかし2024年7月中旬以降は、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆するFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感して株価は急反発し、9月中旬にFRBが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、ほぼ当作成期中の高値で当作成期末を迎えました。

■米国債券市況

米国金利は低下（債券価格は上昇）しました。

米国債券市場では、当作成期首より、経済指標の下振れなどから金利は低下しました。2024年6月には、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しにおいて2024年の利下げ回数を引き下げましたが、金利への影響は限定的でした。7月以降は、雇用統計などの各種経済指標が予想を下振れたことで年内の利下げ織り込みが加速し、金利は低下基調が強まりました。9月には、FRBがインフレの鈍化と労働市場の減速傾向などから利下げを実施したこともあり、金利は低下基調で推移しましたが、当作成期末にかけては、雇用指標が市場予想を大きく上回ったことで大幅な利下げ織り込みがはく落したことや、米国大統領選挙を控えて財政赤字拡大への懸念が広がったことなどから、金利は上昇（債券価格は下落）しました。

■米ドル円為替相場

米ドル為替相場は、対円で下落しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しであることなどから、円安基調となりました。しかし2024年7月以降は、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高米ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調となりました。9月中旬以降は、米国金利の上昇に連れて米ドルは対円で上昇（円安）し、当作成期末にかけて下げ幅を縮小しました。

ポートフォリオについて

(2024.5.20~2024.10.25)

■当ファンド

「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資しました。「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」への投資割合を高位に維持しました。

■ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド

米国を中心とした世界の株式および債券に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整しました。株式のポートフォリオ構築にあたっては、米国の大型株式を中心に組み入れ、定量／定性の両面からアプローチするファンダメンタルズ分析を実施し、成長期待の高い銘柄を選定しました。債券のポートフォリオ構築にあたっては、ファンダメンタルズ分析主導のボトムアップ・アプローチによって銘柄を選定し、投資環境に応じて機動的に金利リスクと信用リスクのバランスを変更しました。

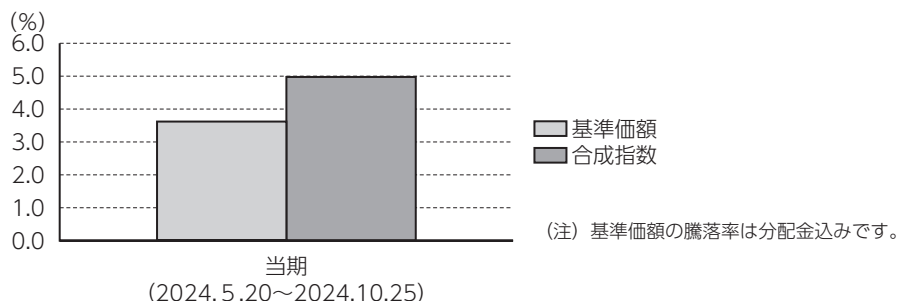
■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年5月20日 ～2024年10月25日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	361

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド

引き続き、米国を中心とした世界の株式および債券に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整します。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



当ファンドの概要

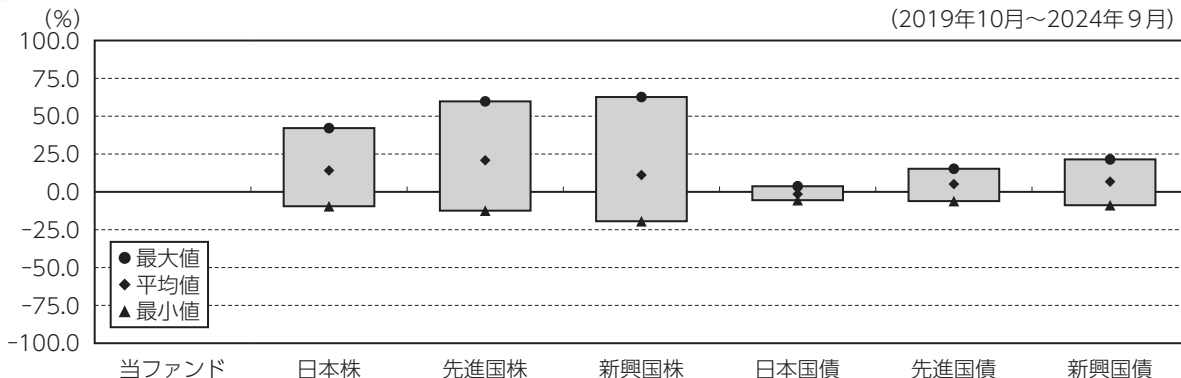
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2024年5月20日～2034年4月25日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. アイルランド籍の外国投資法人「ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンズ・ピーエルシー」が発行する「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド（Zクラス）」（以下「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」といいます。）の投資証券（米ドル建） ロ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンドの投資証券への投資を通じて、米国を中心とした世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）および債券に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンドとマザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

S & P 500指数（「当インデックス」）はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S&P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®]およびCDX[®]は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®]は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

「Bloomberg[®]」およびブルームバーグ米国総合債券指数は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、当社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグは当社とは提携しておらず、また、ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	42.1	59.8	62.7	3.7	15.3	21.5
平均値	-	14.1	20.9	11.1	△1.5	5.2	6.8
最小値	-	△9.5	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



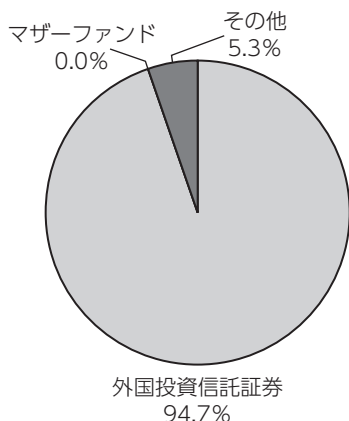
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

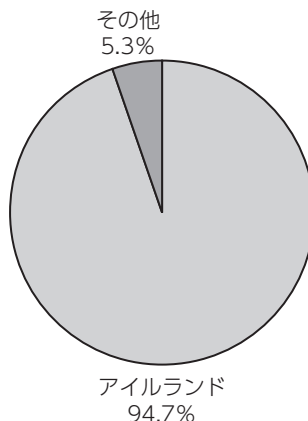
組入ファンド等

	比率
ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド	94.7%
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0.0
その他	5.3

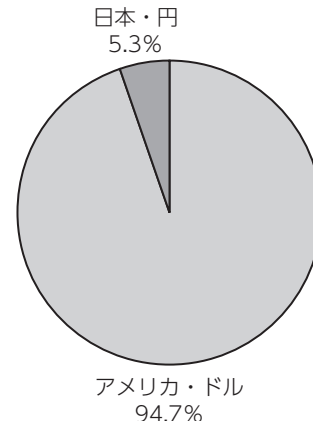
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2024年10月25日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	当期末
	2024年10月25日
純資産総額	16,270,135,498円
受益権総口数	15,701,819,097口
1万口当り基準価額	10,362円

* 当期中における追加設定元本額は15,743,397,590円、同解約元本額は91,578,493円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド (作成対象期間 2023年1月1日～2023年12月31日)

※直近で入手可能なFinancial Statements作成期間です。

■ 1口当り評価額の推移

当ファンドの単位口数当りの評価額は、主要投資対象とするシェアクラスの設定前となりデータがないため、記載しておりません。

■ 1口当りの費用の明細

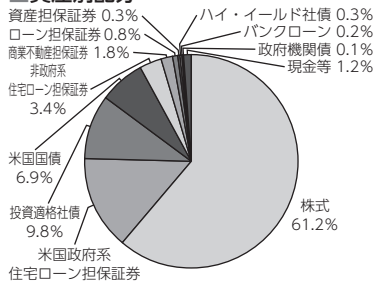
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

■ 組入上位銘柄 (現物資産)

銘柄名	比率
Microsoft Corp.	5.95%
Apple, Inc.	3.50
Alphabet, Inc., C	2.71
NVIDIA Corp.	2.44
Mastercard, Inc., A	2.33
UnitedHealth Group, Inc.	2.04
US Treasury Notes/Bonds 4.5000%, due 15/11/33	1.92
Meta Platforms, Inc., A	1.73
Amazon.com, Inc.	1.63
US Treasury Notes/Bonds 4.1300%, due 15/8/53	1.56
組入銘柄数	633銘柄

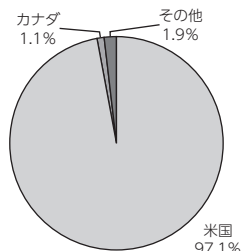
(注) 比率は純資産に対する比率です。

■ 資産別配分



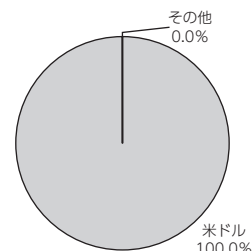
(注) 比率は純資産に対する現物資産の比率です。

■ 国別配分



(注) 比率は純資産に対する現物資産の比率です。

■ 通貨別配分



(注) 比率は純資産に対する比率です。

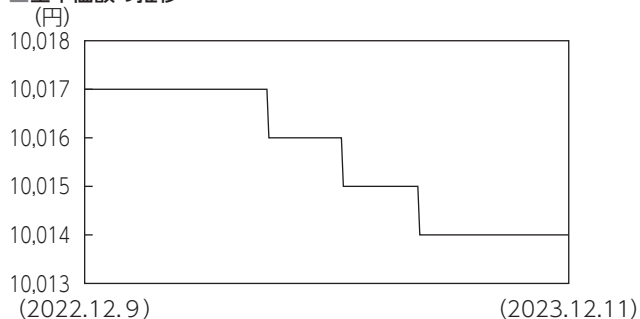
* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書(全体版)の情報とは異なる場合があります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

◆ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日）

■基準価額の推移



■1万口当りの費用の明細

項	目	
売買委託手数料		-円
有価証券取引税		-
その他費用 (その他)		0 (0)
合	計	0

■組入資産

2023年12月11日現在、有価証券等の組み入れはありません。

(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジあり／資産成長型)

<5119>

追加型投信／内外／資産複合
日経新聞掲載名：JHバ有成長

第1期 2024年10月25日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国を中心とした世界の株式および債券に分散投資を行なうとともに、機動的に配比率を調整し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第1期末	基準価額	10,376円
	純資産総額	62百万円
第1期	騰落率	3.8%
	分配金	0円

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

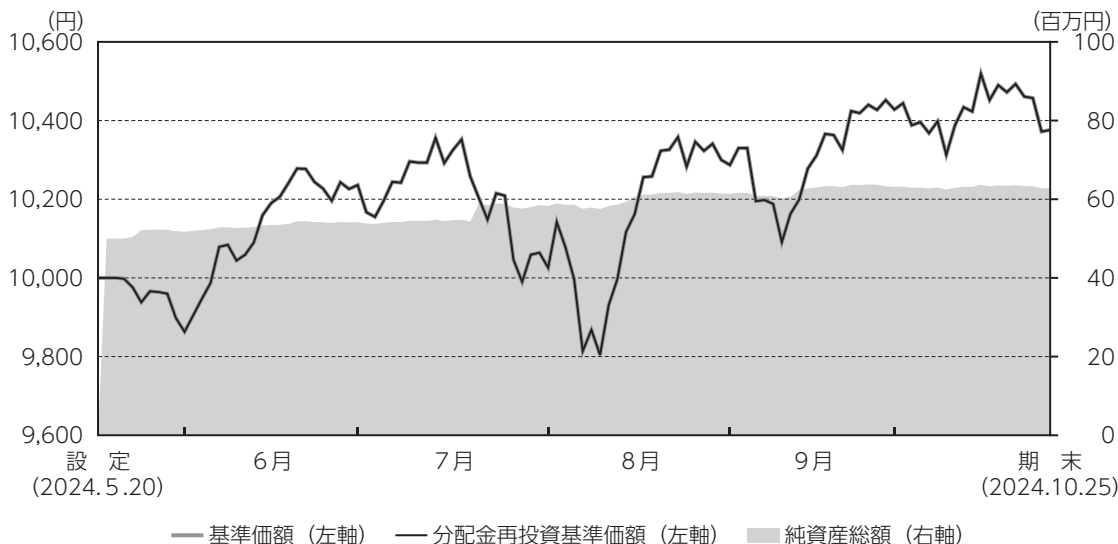
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期末：10,376円 (分配金0円)

騰落率：3.8% (分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」に投資し、米ドル売り/円買いの為替ヘッジを行った結果、為替ヘッジにかかるコストがマイナス要因となったものの、米国株式や米国債券市況の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド：ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド (Zクラス)

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024.5.20~2024.10.25)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	80円	0.783%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,216円です。
(投 信 会 社)	(45)	(0.436)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.335)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.031	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.013)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	83	0.814	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

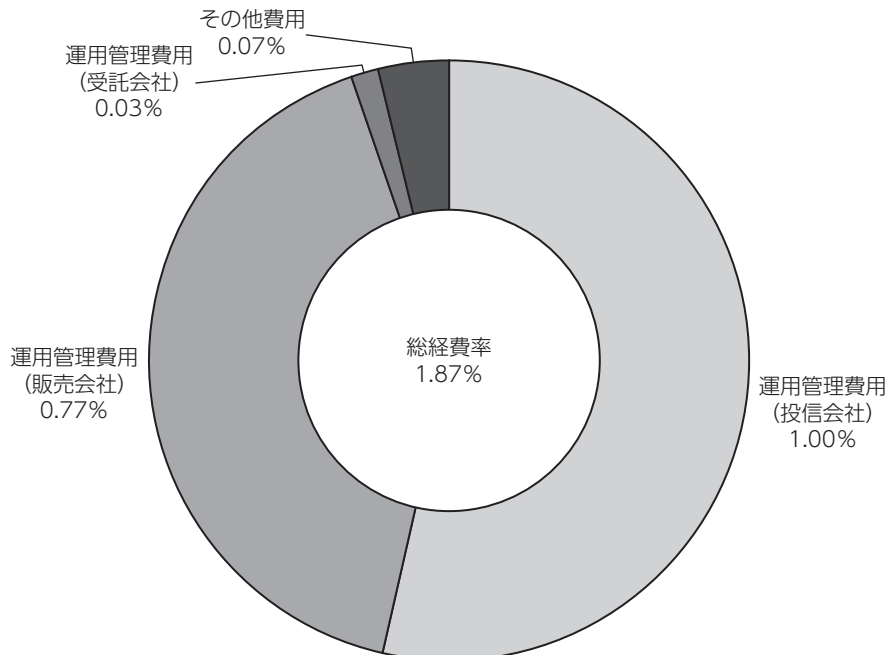
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



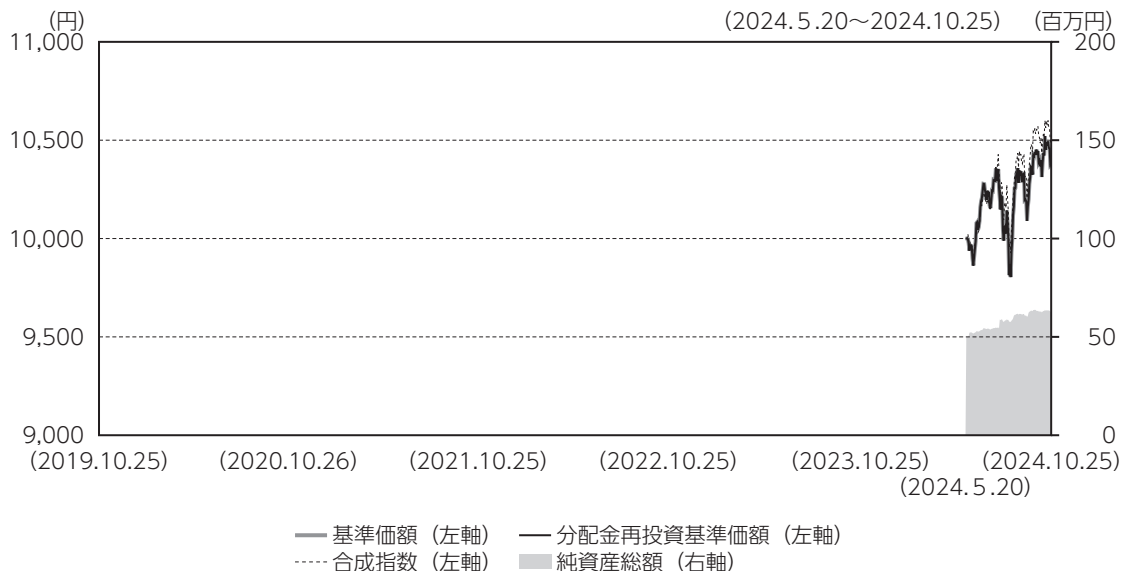
(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

* 投資対象とする外国投資証券の費用は、当該外国投資証券からは支払われません。ただし、組み入れている当該証券の純資産総額の年率0.645%が、投信会社からジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・UK・リミテッドへ支払われます。（この費用は、実質的には、上記の運用管理費用（投信会社）に含まれます。）

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2024年5月20日を10,000として指数化したものです。

*参考指数は合成指数です。

		2024年5月20日 設定	2024年10月25日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,376
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	3.8
合成指数騰落率	(%)	—	5.0
純資産総額	(百万円)	50	62

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 合成指数は、下記の指数と配分比率をもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

指 数	配分比率
S & P 500指数 (配当込み、円ヘッジ)	60%
ブルームバーグ米国総合債券指数 (円ヘッジ)	40%

(注) S & P 500指数 (配当込み、円ヘッジ) は、S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース) の日次リターンに、ヘッジコスト/プレミアムを加減し、大和アセットマネジメントが計算したものです。ブルームバーグ米国総合債券指数 (円ヘッジ) はブルームバーグ米国総合債券指数 (米ドルベース) の日次リターンに、ヘッジコスト/プレミアムを加減し、大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2024.5.20~2024.10.25)

■米国株式市況

米国株式市場は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が高まったことなどから上昇基調で推移し、高成長が期待されるAI（人工知能）関連企業の株価急騰が相場をけん引して高値を更新しました。しかし2024年7月中旬以降は、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆するFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感して株価は急反発し、9月中旬にFRBが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、ほぼ当作成期中の高値で当作成期末を迎えました。

■米国債券市況

米国金利は低下（債券価格は上昇）しました。

米国債券市場では、当作成期首より、経済指標の下振れなどから金利は低下しました。2024年6月には、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しにおいて2024年の利下げ回数を引き下げましたが、金利への影響は限定的でした。7月以降は、雇用統計などの各種経済指標が予想を下振れたことで年内の利下げ織り込みが加速し、金利は低下基調が強まりました。9月には、FRBがインフレの鈍化と労働市場の減速傾向などから利下げを実施したこともあり、金利は低下基調で推移しましたが、当作成期末にかけては、雇用指標が市場予想を大きく上回ったことで大幅な利下げ織り込みがはく落したことや、米国大統領選挙を控えて財政赤字拡大への懸念が広がったことなどから、金利は上昇（債券価格は下落）しました。

ポートフォリオについて

(2024.5.20~2024.10.25)

当ファンド

「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資しました。「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」への投資割合を高位に維持しました。また、米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行いました。

ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド

米国を中心とした世界の株式および債券に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整しました。株式のポートフォリオ構築にあたっては、米国の大型株式を中心に組み入れ、定量／定性の両面からアプローチするファンダメンタルズ分析を実施し、成長期待の高い銘柄を選定しました。債券のポートフォリオ構築にあたっては、ファンダメンタルズ分析主導のボトムアップ・アプローチによって銘柄を選定し、投資環境に応じて機動的に金利リスクと信用リスクのバランスを変更しました。

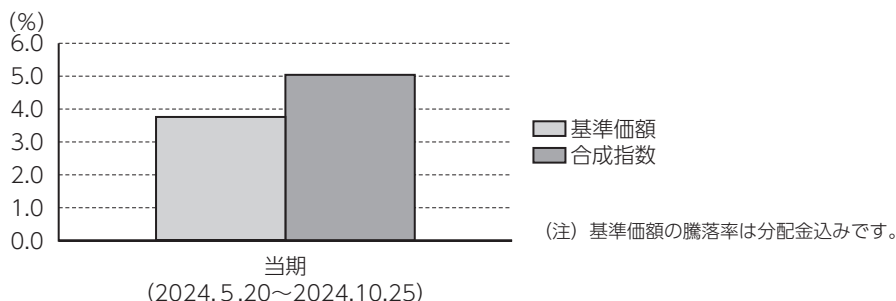
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年5月20日 ～2024年10月25日	
当期分配金（税込み）（円）	－	
対基準価額比率（％）	－	
当期の収益（円）	－	
当期の収益以外（円）	－	
翌期繰越分配対象額（円）	375	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。なお、米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行うことにより、米ドルと円の為替変動リスクの低減を図ります。

■ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド

引き続き、米国を中心とした世界の株式および債券に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整します。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



当ファンドの概要

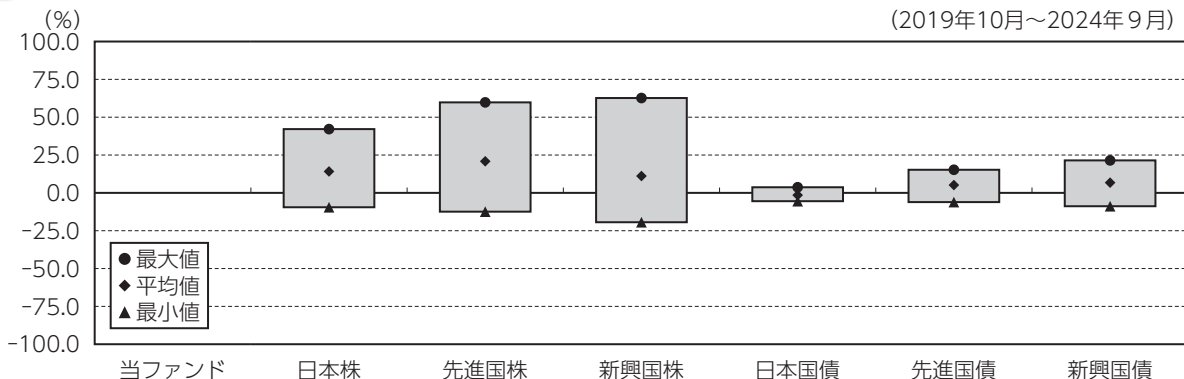
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2024年5月20日～2034年4月25日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. アイルランド籍の外国投資法人「ジャンナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンズ・ピーエルシー」が発行する「ジャンナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド（Zクラス）」（以下「ジャンナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」といいます。）の投資証券（米ドル建） ロ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、ジャンナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンドの投資証券への投資を通じて、米国を中心とした世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）および債券に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、ジャンナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンドとマザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ジャンナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ジャンナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンドの組入額に対して、原則として米ドル売り／円買いの為替取引を行なうことにより、米ドルと円の為替変動リスクの低減を図ります。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

S & P 500指数（「当インデックス」）はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S&P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®]およびCDX[®]は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®]は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

「Bloomberg[®]」およびブルームバーク米国総合債券指数は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーク」）のサービスマークであり、当社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバークは当社とは提携しておらず、また、ジャンナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバークは、ジャンナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	42.1	59.8	62.7	3.7	15.3	21.5
平均値	-	14.1	20.9	11.1	△1.5	5.2	6.8
最小値	-	△9.5	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



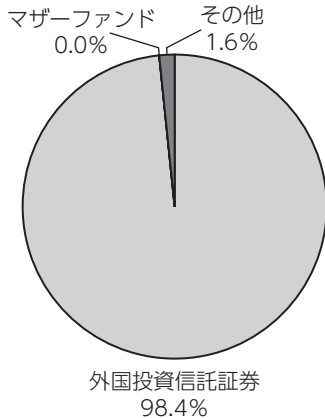
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

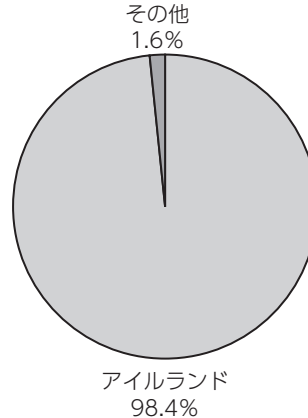
組入ファンド等

	比率
ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド	98.4%
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0.0%
その他	1.6%

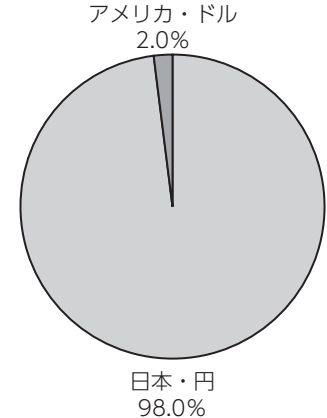
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2024年10月25日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	当期末
	2024年10月25日
純資産総額	62,822,921円
受益権総口数	60,546,575口
1万口当り基準価額	10,376円

* 当期中における追加設定元本額は11,082,837円、同解約元本額は536,262円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

- ◆ **ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド**（作成対象期間 2023年1月1日～2023年12月31日）
12ページをご参照ください。
- ◆ **ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド**（作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日）
13ページをご参照ください。

ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジなし／年4回決算型)

<5120>

追加型投信／内外／資産複合

日経新聞掲載名：JHバ無4

第1期 2024年7月25日決算

第2期 2024年10月25日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国を中心とした世界の株式および債券に分散投資を行なうとともに、機動的に配比率を調整し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第2期末	基準価額	10,329円
	純資産総額	26,321百万円
第1期～第2期	騰落率	3.6%
	分配金合計	30円


(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

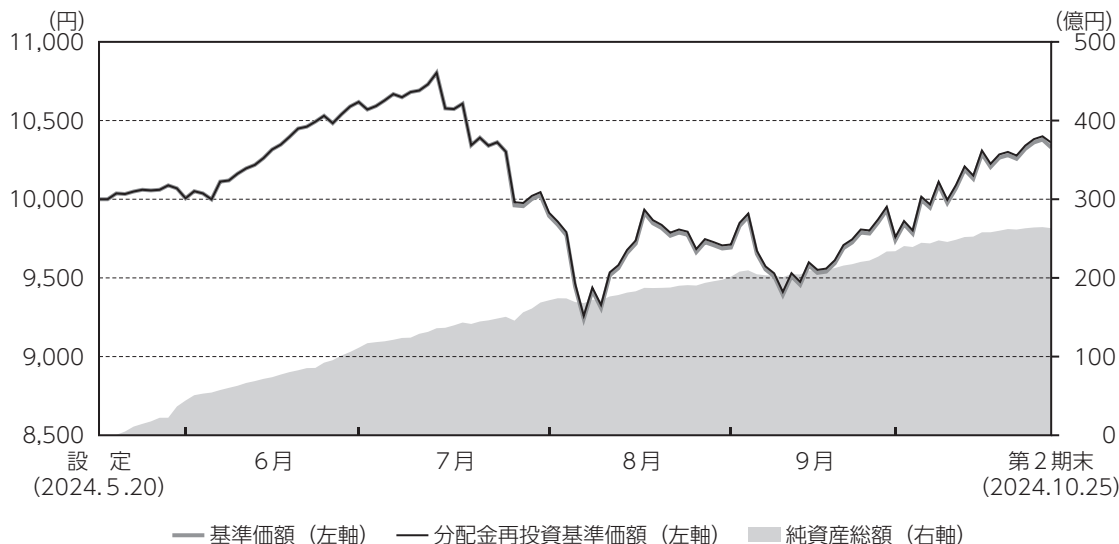
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円
 第2期末：10,329円（既払分配金30円）
 騰落率：3.6%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」に投資した結果、米ドルが対円で下落（円高）したことはマイナス要因となったものの、米国株式や米国債券市況の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド：ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド（Zクラス）

1万口当りの費用の明細

項 目	第1期～第2期 (2024.5.20～2024.10.25)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	79円	0.780%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,081円です。
(投 信 会 社)	(44)	(0.434)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.334)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	79	0.784	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

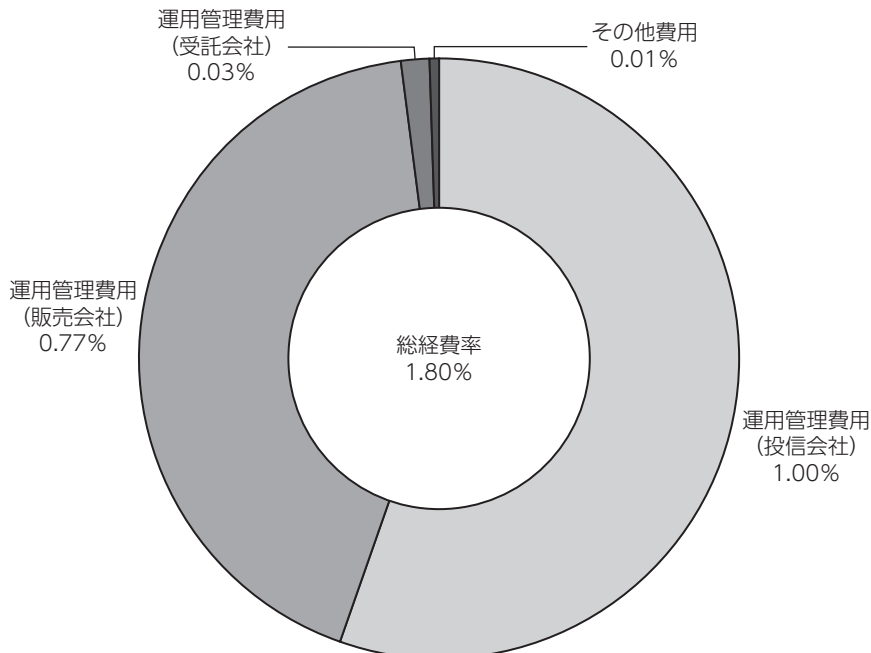
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



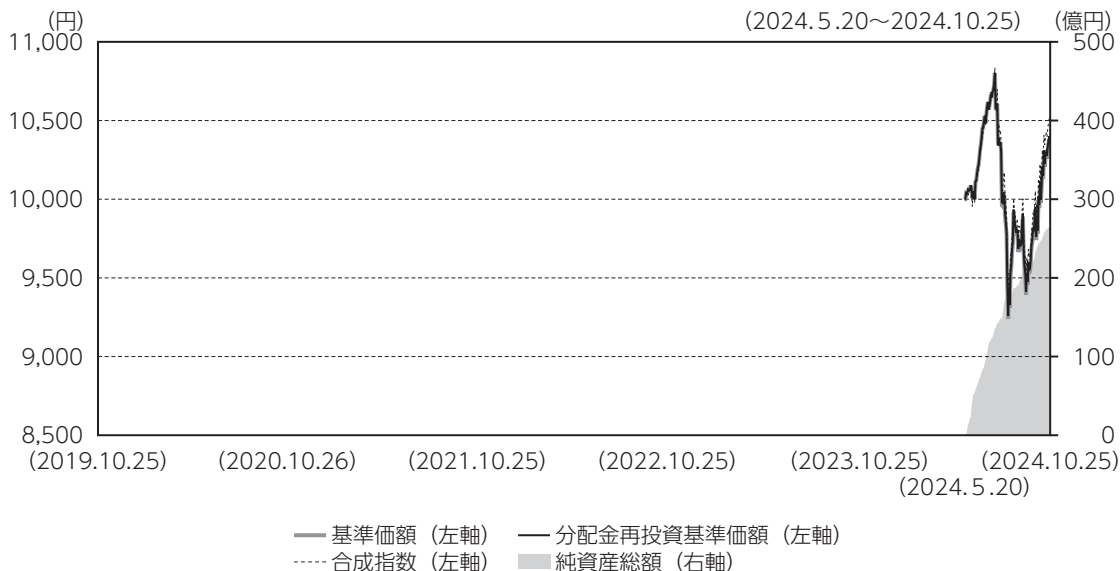
(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

* 投資対象とする外国投資証券の費用は、当該外国投資証券からは支払われません。ただし、組み入れている当該証券の純資産総額の年率0.645%が、投信会社からジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・UK・リミテッドへ支払われます。（この費用は、実質的には、上記の運用管理費用（投信会社）に含まれます。）

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2024年5月20日を10,000として指数化したものです。

*参考指数は合成指数です。

		2024年5月20日 設定	2024年10月25日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,329
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	30
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	3.6
合成指数騰落率	(%)	—	5.0
純資産総額	(百万円)	50	26,321

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 合成指数は、下記の指数と配分比率をもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

指 数	配分比率
S & P 500指数 (配当込み、円換算)	60%
ブルームバーグ米国総合債券指数 (円換算)	40%

(注) S & P 500指数 (配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース) をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。ブルームバーグ米国総合債券指数 (円換算) はブルームバーグ米国総合債券指数 (米ドルベース) をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。

(注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2024.5.20~2024.10.25)

■米国株式市況

米国株式市場は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が高まったことなどから上昇基調で推移し、高成長が期待されるAI（人工知能）関連企業の株価急騰が相場をけん引して高値を更新しました。しかし2024年7月中旬以降は、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆するFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感して株価は急反発し、9月中旬にFRBが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、ほぼ当作成期中の高値で当作成期末を迎えました。

■米国債券市況

米国金利は低下（債券価格は上昇）しました。

米国債券市場では、当作成期首より、経済指標の下振れなどから金利は低下しました。2024年6月には、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しにおいて2024年の利下げ回数を引き下げましたが、金利への影響は限定的でした。7月以降は、雇用統計などの各種経済指標が予想を下振れたことで年内の利下げ織り込みが加速し、金利は低下基調が強まりました。9月には、FRBがインフレの鈍化と労働市場の減速傾向などから利下げを実施したこともあり、金利は低下基調で推移しましたが、当作成期末にかけては、雇用指標が市場予想を大きく上回ったことで大幅な利下げ織り込みがはく落したことや、米国大統領選挙を控えて財政赤字拡大への懸念が広がったことなどから、金利は上昇（債券価格は下落）しました。

■米ドル円為替相場

米ドル為替相場は、対円で下落しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しであることなどから、円安基調となりました。しかし2024年7月以降は、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高米ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調となりました。9月中旬以降は、米国金利の上昇に連れて米ドルは対円で上昇（円安）し、当作成期末にかけて下げ幅を縮小しました。

ポートフォリオについて

(2024.5.20~2024.10.25)

当ファンド

「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資しました。「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」への投資割合を高位に維持しました。

ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド

米国を中心とした世界の株式および債券に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整しました。株式のポートフォリオ構築にあたっては、米国の大型株式を中心に組み入れ、定量/定性の両面からアプローチするファンダメンタルズ分析を実施し、成長期待の高い銘柄を選定しました。債券のポートフォリオ構築にあたっては、ファンダメンタルズ分析主導のボトムアップ・アプローチによって銘柄を選定し、投資環境に応じて機動的に金利リスクと信用リスクのバランスを変更しました。

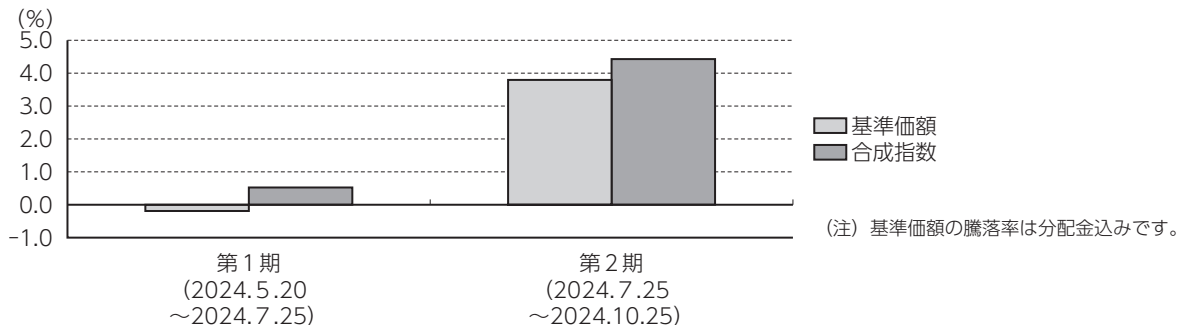
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第1期	第2期
		2024年5月20日 ～2024年7月25日	2024年7月26日 ～2024年10月25日
当期分配金（税込み）	（円）	20	10
対基準価額比率	（%）	0.20	0.10
当期の収益	（円）	20	10
当期の収益以外	（円）	—	—
翌期繰越分配対象額	（円）	14	328

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目		第1期	第2期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	30.44円	✓ 96.47円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00	135.59
(c) 収益調整金		3.89	100.54
(d) 分配準備積立金		0.00	5.96
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		34.33	338.58
(f) 分配金		20.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		14.33	328.58

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資します。通常の状態、「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド

引き続き、米国を中心とした世界の株式および債券に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整します。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



当ファンドの概要

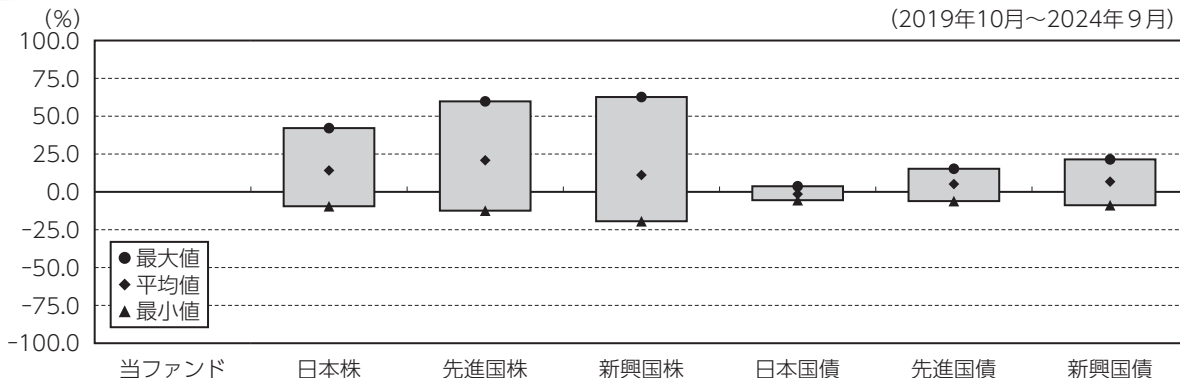
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2024年5月20日～2034年4月25日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. アイルランド籍の外国投資法人「ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンズ・ピーエルシー」が発行する「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド（Zクラス）」（以下「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」といいます。）の投資証券（米ドル建） ロ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンドの投資証券への投資を通じて、米国を中心とした世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）および債券に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンドとマザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。なお、4月と10月の計算期末については、分配対象額の中から基準価額水準に応じて委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

S & P 500指数（「当インデックス」）はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S&P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®]およびCDX[®]は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®]は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDI、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

「Bloomberg[®]」およびブルームバーグ米国総合債券指数は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、当社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグは当社とは提携しておらず、また、ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジなし／年4回決算型）を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジなし／年4回決算型）に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	42.1	59.8	62.7	3.7	15.3	21.5
平均値	-	14.1	20.9	11.1	△1.5	5.2	6.8
最小値	-	△9.5	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、JP Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。JP Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



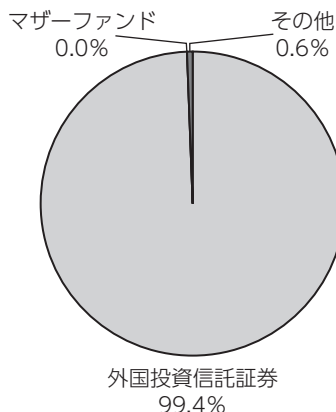
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

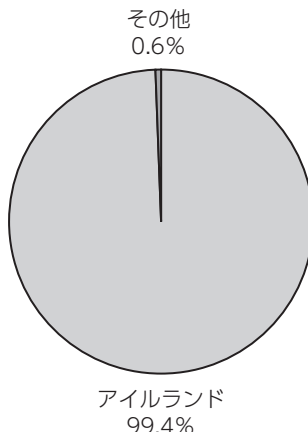
組入ファンド等

	比率
ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド	99.4%
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0.0
その他	0.6

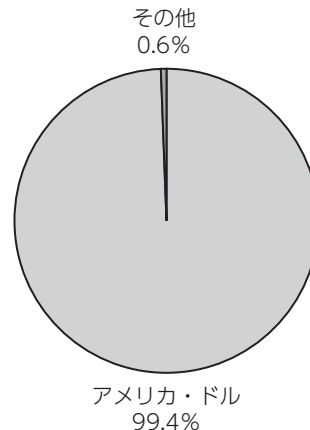
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2024年10月25日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	第1期末	第2期末
	2024年7月25日	2024年10月25日
純資産総額	14,567,142,744円	26,321,063,714円
受益権総口数	14,624,493,050口	25,483,711,055口
1万口当り基準価額	9,961円	10,329円

* 当作成期間 (第1期～第2期) 中における追加設定元本額は25,582,852,330円、同解約元本額は149,141,275円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

- ◆ **ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド**（作成対象期間 2023年1月1日～2023年12月31日）
12ページをご参照ください。
- ◆ **ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド**（作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日）
13ページをご参照ください。

ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジあり／年4回決算型)

<5121>

追加型投信／内外／資産複合
日経新聞掲載名：JHバ有4

第1期	2024年7月25日決算
第2期	2024年10月25日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国を中心とした世界の株式および債券に分散投資を行なうとともに、機動的に配比率を調整し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第2期末	基準価額	10,330円
	純資産総額	70百万円
第1期～第2期	騰落率	3.5%
	分配金合計	20円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

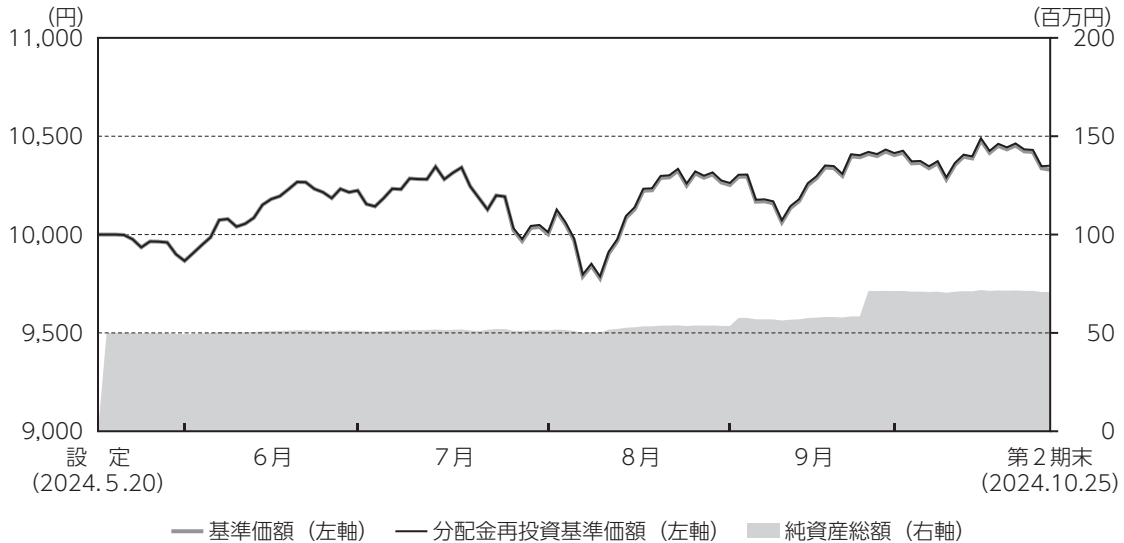
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

第2期末：10,330円 (既払分配金20円)

騰落率：3.5% (分配金再投資ベース)

■ 基準価額の主な変動要因

「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」に投資し、米ドル売り/円買いの為替ヘッジを行った結果、為替ヘッジにかかるコストがマイナス要因となったものの、米国株式や米国債券市況の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド：ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド (Zクラス)

1万口当りの費用の明細

項 目	第1期～第2期 (2024.5.20～2024.10.25)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	80円	0.784%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,188円です。
(投 信 会 社)	(44)	(0.436)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.336)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.021	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0.015)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	82	0.805	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

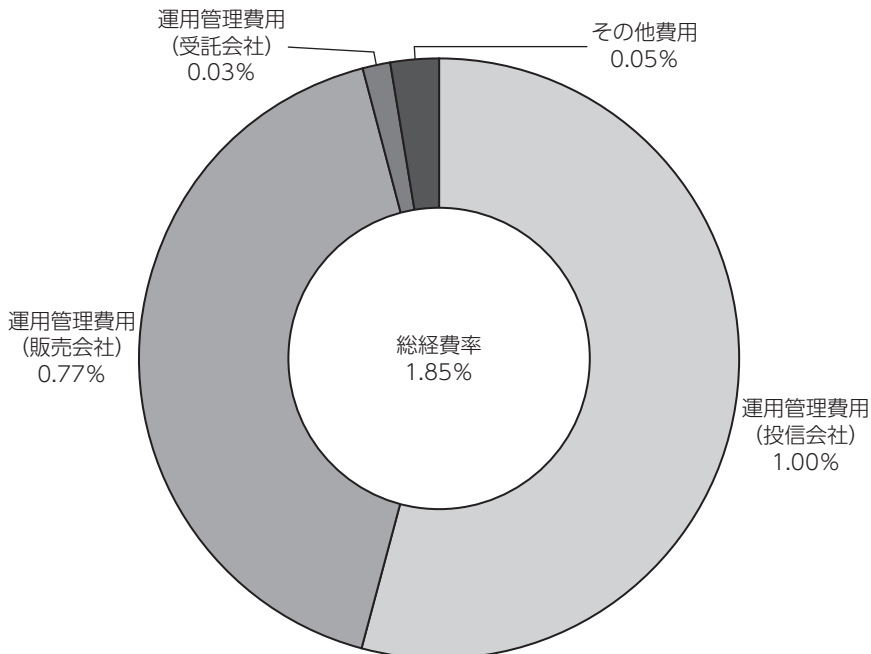
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



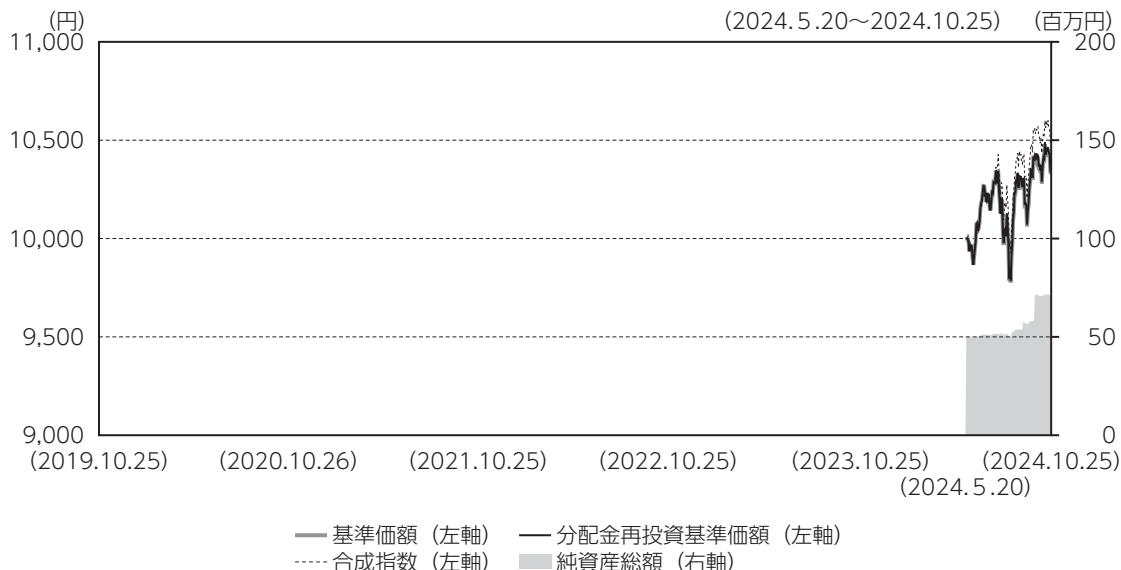
(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

* 投資対象とする外国投資証券の費用は、当該外国投資証券からは支払われません。ただし、組み入れている当該証券の純資産総額の年率0.645%が、投信会社からジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・UK・リミテッドへ支払われます。（この費用は、実質的には、上記の運用管理費用（投信会社）に含まれます。）

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2024年5月20日を10,000として指数化したものです。

*参考指数は合成指数です。

		2024年5月20日 設定	2024年10月25日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,330
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	20
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	3.5
合成指数騰落率	(%)	—	5.0
純資産総額	(百万円)	50	70

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 合成指数は、下記の指数と配分比率をもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

指 数	配分比率
S & P 500指数 (配当込み、円ヘッジ)	60%
ブルームバーグ米国総合債券指数 (円ヘッジ)	40%

(注) S & P 500指数 (配当込み、円ヘッジ) は、S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース) の日次リターンに、ヘッジコスト/プレミアムを加減し、大和アセットマネジメントが計算したものです。ブルームバーグ米国総合債券指数 (円ヘッジ) はブルームバーグ米国総合債券指数 (米ドルベース) の日次リターンに、ヘッジコスト/プレミアムを加減し、大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2024.5.20~2024.10.25)

■米国株式市況

米国株式市場は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が高まったことなどから上昇基調で推移し、高成長が期待されるAI（人工知能）関連企業の株価急騰が相場をけん引して高値を更新しました。しかし2024年7月中旬以降は、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆するFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感して株価は急反発し、9月中旬にFRBが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、ほぼ当作成期中の高値で当作成期末を迎えました。

■米国債券市況

米国金利は低下（債券価格は上昇）しました。

米国債券市場では、当作成期首より、経済指標の下振れなどから金利は低下しました。2024年6月には、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しにおいて2024年の利下げ回数を引き下げましたが、金利への影響は限定的でした。7月以降は、雇用統計などの各種経済指標が予想を下振れたことで年内の利下げ織り込みが加速し、金利は低下基調が強まりました。9月には、FRBがインフレの鈍化と労働市場の減速傾向などから利下げを実施したこともあり、金利は低下基調で推移しましたが、当作成期末にかけては、雇用指標が市場予想を大きく上回ったことで大幅な利下げ織り込みがはく落したことや、米国大統領選挙を控えて財政赤字拡大への懸念が広がったことなどから、金利は上昇（債券価格は下落）しました。

ポートフォリオについて

(2024.5.20~2024.10.25)

当ファンド

「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資しました。「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」への投資割合を高位に維持しました。また、米ドル売り/円買いの為替ヘッジを行いました。

ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド

米国を中心とした世界の株式および債券に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整しました。株式のポートフォリオ構築にあたっては、米国の大型株式を中心に組み入れ、定量/定性の両面からアプローチするファンダメンタルズ分析を実施し、成長期待の高い銘柄を選定しました。債券のポートフォリオ構築にあたっては、ファンダメンタルズ分析主導のボトムアップ・アプローチによって銘柄を選定し、投資環境に応じて機動的に金利リスクと信用リスクのバランスを変更しました。

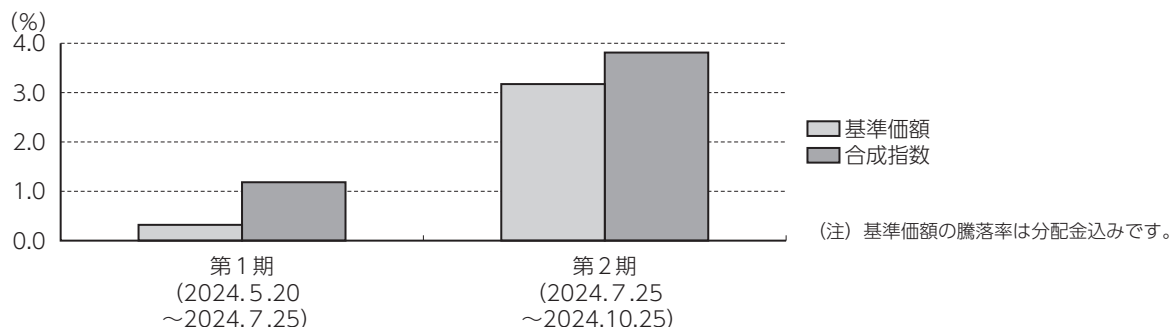
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第1期	第2期
		2024年5月20日 ～2024年7月25日	2024年7月26日 ～2024年10月25日
当期分配金（税込み）	（円）	10	10
対基準価額比率	（%）	0.10	0.10
当期の収益	（円）	10	10
当期の収益以外	（円）	－	－
翌期繰越分配対象額	（円）	21	329

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目		第1期	第2期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	25.99円	✓ 96.60円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		2.24	145.28
(c) 収益調整金		3.46	84.41
(d) 分配準備積立金		0.00	13.56
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		31.70	339.86
(f) 分配金		10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		21.70	329.86

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。なお、米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行うことにより、米ドルと円の為替変動リスクの低減を図ります。

■ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド

引き続き、米国を中心とした世界の株式および債券に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整します。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



当ファンドの概要

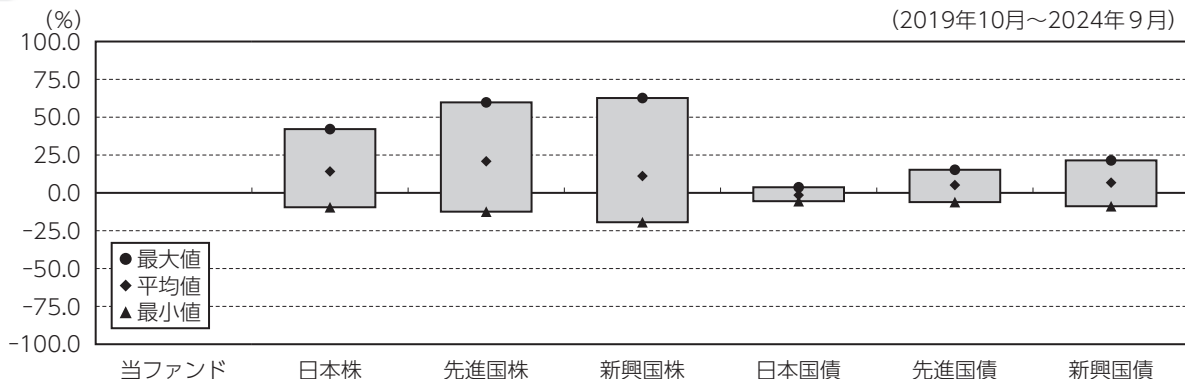
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2024年5月20日～2034年4月25日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. アイルランド籍の外国投資法人「ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンズ・ピーエルシー」が発行する「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド（Zクラス）」（以下「ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド」といいます。）の投資証券（米ドル建） ロ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンドの投資証券への投資を通じて、米国を中心とした世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）および債券に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンドとマザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンドの組入額に対して、原則として米ドル売り／円買いの為替取引を行なうことにより、米ドルと円の為替変動リスクの低減を図ります。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。なお、4月と10月の計算期末については、分配対象額の中から基準価額水準に応じて委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

S & P 500指数（「当インデックス」）はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S&P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®]およびCDX[®]は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®]は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

「Bloomberg[®]」およびブルームバーグ米国総合債券指数は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、当社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグは当社とは提携しておらず、また、ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジあり／年4回決算型）を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジあり／年4回決算型）に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	—	42.1	59.8	62.7	3.7	15.3	21.5
平均値	—	14.1	20.9	11.1	△1.5	5.2	6.8
最小値	—	△9.5	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



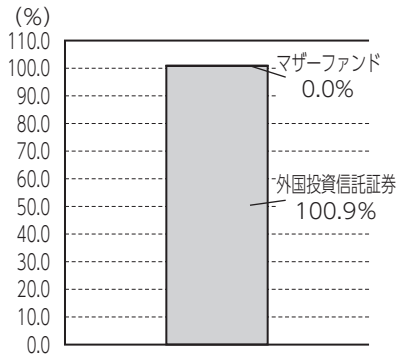
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

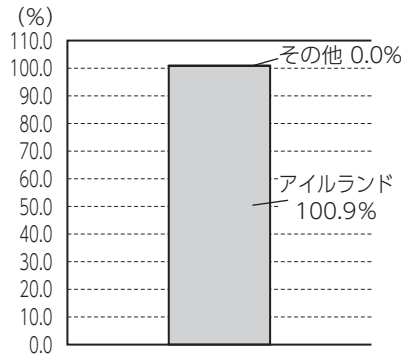
組入ファンド等

	比率
ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド	100.9%
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0.0

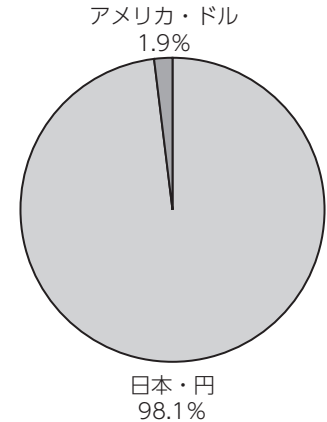
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2024年10月25日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	第1期末	第2期末
	2024年7月25日	2024年10月25日
純資産総額	51,060,966円	70,760,560円
受益権総口数	50,950,378口	68,500,950口
1万口当り基準価額	10,022円	10,330円

*当作成期間（第1期～第2期）中における追加設定元本額は18,500,950円、同解約元本額は0円です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

- ◆ **ジャナス・ヘンダーソン・バランスド・ファンド**（作成対象期間 2023年1月1日～2023年12月31日）
12ページをご参照ください。
- ◆ **ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド**（作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日）
13ページをご参照ください。